

ごあいさつ

獨協医科大学病院長
麻生 好正



令和4年（2022年）4月1日より当院の病院長に就任し、令和7年4月1日より2期目の病院長を拝命いたしました麻生好正です。平素より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

獨協医科大学の母体である獨協学園は、1881（明治14）年に創立された獨逸学協会をルーツとする140年余の歴史ある学園です。1973（昭和48）年4月に獨協医科大学が開学となり、翌年7月に獨協医科大学病院が開院しました。当院の理念として「医療倫理の徹底」「高度で良質な医療の提供」「医療の進歩への貢献」「連携医療の構築」「良質な医療人の育成」の5つを掲げ、当院は臨床・研究・教育の全ての面で発展してまいりました。2023年4月に本学は創立50周年を迎え、記念事業として、キャンパス再整備の一環である総合教育研究棟（仮称）が2025年夏に完成予定です。また、2024年に、当院は開院50周年を迎えることができました。

当院は特定機能病院として高度先端医療の提供を維持し、高度急性期病院の役割を果たしております。特に移植医療に重点を置き、生体肝移植・膵臍同時移植・肺移植・骨髄移植・角膜移植など数多く実施しています。1,195床（許可病床）を有する北関東最大のメディカルセンターとして、県内の三次救急医療・高度救急医療の責務を果たしてまいりました。ドクターヘリの運航は2025年1月に15周年を迎え、10000回以上の出動実績があり、北関東3県の救急医療を支えています。新型コロナウイルス感染症の対応（特に重症患者の治療）でも地域医療に貢献致しました。災害拠点病院としても、災害派遣医療チームや災害派遣精神医療チームが、大地震・水害の対応などの災害時に出動して重要な役割を果たしています。

総合周産期母子医療センターは重症の妊婦や新生児に高度医療を提供しています。がんゲノム医療についても「がんゲノム医療連携病院」の指定を受け積極的に取り組んでいます。ロボット支援手術は月50件施行し、さらに手術数を増加させ、近隣の医療機関の負託に応えていきます。

新設したリプロダクションセンター（不妊治療）および国内で初導入されたヤナイフ新機種「Esprit」とも順調に稼働しております。2025年1月より肥満症治療センターがスタートし、肥満外科手術および持続性GLP-1受容体作動薬治療に積極的に取り組んでいます。現在33の診療科、27のセンターを擁する充実した診療体制にあります。

広報活動の一環として、当院のスーパードクター達の紹介をDOKKYO MEDICAL SCOPEと題してYouTube配信しておりますので、ご視聴のうえ、チャンネル登録いただけますと幸いです。年3～4回のペースで、新たなYouTubeを配信しております。ご視聴頂けますと、まさに「獨協を識る」ことになります。

当院は北関東自動車道壬生インター出口からほぼ直結した好立地にあり、栃木県のみならず、北関東にお住いの患者さんにとって自動車で大変アクセスしやすい病院です。

今後も職員一丸となり、患者さんを中心とした、患者さんに寄り添う良質で高度かつ安全な医療を提供してまいります。すべての患者さん・ご家族に「獨協医科大学病院を選んでよかった」と思われる病院を目指して、日々全力を尽くしていく所存です。皆様の温かいご支援、ご協力ををお願い申し上げます。

理念

1. 医療倫理の徹底

生命の尊厳と権利を尊重し、高い倫理観を持って病める人々の為に全力を尽くす。

2. 高度で良質な医療の提供

最高の可能性を求める医療を提供するため、患者視点に立ち、弛まぬ自己研鑽に努め、高水準の知識や技術を全ての人々のために提供する。

3. 医療の進歩への貢献

社会へ貢献するため病の撲滅、人々の平和と幸せの為の真理の探究をめざし、先端医療への道を研究機関としても鋭意努力する。

4. 連携医療の構築

特定機能病院として高度先端医療の提供と、地域社会の中核となる医療センターであるとの自負を持ち、地域の他医療機関との良好な関係を築き地域医療包括ケアを実践する。

5. 良質な医療人の育成

大学病院は、教育機関として学生及び教職員を世界に貢献する人材としての良質な医療人に育成する。共通の認識を持って病と対峙するチーム医療が遂行でき、良質で安全な医療遂行の一員として成長させる。

基本方針

1. 生命の尊厳と権利の尊重

生命の尊厳と権利を尊重し、医療従事者として常に高い倫理観を持って自己の確立と医療倫理を徹底する。

2. 高度で先進的な医療の追求

弛まぬ自己研鑽のもと、最先端の医療を取り入れ、高度で良質な医療を提供する。

3. 先端医療の開拓と真理の探究

大学病院は、研究機関として人材、施設、設備を有効に活用した真理の探究から、先端医療への道を開拓し、人道に基づいて人と病との関係を真摯に探求し、蓄積し、医学、医療の進歩に貢献する。

4. チーム医療の推進

良質で安全な医療を遂行するために多職種がそれぞれの能力を発揮し協働することによるチーム医療を推進し、全職員が誇りを持って働く職場づくりを実践する。

5. 地域医療の確立

特定機能病院であるとともに、地域社会の医療センターであるとの自負を持って、地域の他医療機関との良好な関係を築き地域医療包括ケアを実践する。

6. 学生の教育

教育機関である大学病院として、医の倫理に基づき、良質な医療人を育成すべく医学生、看護学生等への教育を推進する。

7. 地域住民の健康と予防医学の達成

地域の人々との交流を通じ、持ちうる知識や技術を地域住民の健康や予防医学のために提供する。

概要

■名 称：学校法人 獨協学園 獨協医科大学病院
■住 所：〒321-0293
栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地
■電 話：0282-86-1111(代表)

■病院長：麻生 好正
■開院年月日：昭和49年7月17日
■許可病床数：1,195床（一般1,153床・精神42床）
■職員数：2,950名（2025年4月1日現在）
■外来患者数（1日平均）：2,053名（2024年度実績）
■入院患者数（1日平均）：936名（2024年度実績）

■標榜科目：心臓・血管内科	消化器内科	血液・腫瘍内科	循環器内科
腎臓内科	脳神経内科	内分泌代謝内科	呼吸器・アレルギー科
リウマチ科	精神科	皮膚科	放射線科
小児科	麻酔科	病理診断科	内科
外科	小児外科	心臓・血管外科	呼吸器外科
脳神経外科	整形外科	泌尿器科	眼科
頭頸部・耳鼻咽喉科	産婦人科	歯科口腔外科	歯科
小児歯科	矯正歯科	リハビリテーション科	
形成外科・美容外科	乳腺外科	救急科	

■外来休診日：日曜日・祝日・第3土曜日、
年末年始（12月29日～1月3日）
開学記念日（4月23日）

■救急体制：3次救急

■拠点病院・その他：特定機能病院	栃木県肝疾患診療連携拠点病院
とちぎ子ども医療センター	総合周産期母子医療センター
認知症疾患医療センター	地域がん診療連携拠点病院
栃木県ドクターヘリ基地病院	PETセンター
救命救急センター（3次救急医療）	エイズ中核拠点病院
病院群輸番制病院（2次救急医療）	地域災害拠点病院
DMAT指定医療機関	臓器移植登録施設（肺・腎臓）
がんゲノム医療連携病院	難病診療連携拠点病院
栃木県アレルギー疾患医療拠点病院	